

令和4年度第1回情報化推進委員会 報告書

日 時：令和4年9月8日（木） 10：30～

場 所：白河商工会議所応接室（オンライン会議）

出席者：委員3名 事務局4名
計7名

（委員3名）

アクサ生命保険(株)	委 員 長	細谷 岳男
三菱製紙(株)白河事業所	副委員長	松澤 賢一
小田川運輸(有)	委 員	緑川 直人

（事務局4名）

白河商工会議所	専務理事	金澤 洋一
〃	事務局長	内 藤 亘
〃 企画総務課	課 長	今井 貴信
〃 〃	主 事	塩沢 安耶

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 議題

(1) 協議事項

① 令和4年度事業計画の推進について

事務局より配布資料をもとに、事前アンケート結果および今年度の進捗について説明。委員より自社での情報化の課題や事業計画推進の方向性について意見交換を行った。

ITを活用したビジネスモデル変革への調査研究については、今回出た委員の意見を踏まえ、「マンパワー」をキーワードに改めて視察先案を提示し、絞り込みを諮りながら進めていく。

情報発信力強化については、会員事業所については全体のスキルアップを目指して進めていく。一方、会議所についてはHPのバージョンアップが必要であり、アクセス解析の結果を示したうえで対策を図っていく。

各事業計画に関する委員からの意見は以下の通り。

A. ITを活用したビジネスモデル変革への調査研究について

(a) 情報化の課題について

- 会社全体で人数が減ってきている。R P Aなどの導入は容易にできる代物でないとは思いながらも、興味があり、勉強してみたい（松澤副委員長）
- 業種として、マンパワーのウエイトが高いため、それを補助するD X等の導入が必要と思うが、どういった導入をするか、メリットは何があるか、見えづらいと感じている（緑川委員）
- 会社にデジタル化の仕組みは導入されているが、現場の高齢化が進んでいることもありうまく活用しきれていない。例えば、長年対面でやってきた営業マンにとっては、リモートで契約手続きができる仕組みがあっても、対面の方が早くできると言ってリモートを選ばない。会社で導入した仕組みと営業マンとのマッチングや、導入した技術のスキル化が進んでいないことをとても課題に感じている。要望・視察勉強を進めていくにあたって「マンパワー」というキーワードがヒントになると思う。（細谷委員長）

(b) 視察先の検討について

- 運送業のD X、建設業のD Xというよりも、色々な業種業界を問わないようなものも調べられたら勉強になると思う（松澤副委員長）
- 自社の目線の他に、AiCT のワーキングスペースなど市と連携して進めていくのもひとつの効果と思うので、違う目線でも見ていく必要があると思う。業種に特化した部分と、もっと広い目線からの、両側で進めていく勉強をするべき。（緑川委員）

B. 会員事業所の情報発信力強化について

- 当社は今年の5月頃にホームページを更新した。現状は運送や当社を調べる意思のある人の入り口となっているが、入り口を広げるような意味で、商工会議所HPからリンクするのはどうか。その中で、他の会員事業所がそれぞれに持っているHPの作成・運営などの悩みを集約できたら、それがまたこれからHPを作る会員事業所にとっても参考になると思う。（緑川委員）
- HPひとつをとっても、会員事業所それぞれで周知あるいは販売など何を目的にするかといったHPの役割が違うが、情報発信を目的とするならば、Line、Twitter、Facebook など一歩踏

み込んで能動的に取り組むことも必要だと思う。ただ、全部の課題を解決することは難しいので、まずは会員事業所全体のスキルアップを目指して少しずつ始めていきたい。(細谷委員長)

C. 会議所の情報発信力強化について

- HPのバージョンアップはやらざるを得ないことだと感じる。また、去年、3か月前など過去と比べて現状がどうかといった時系列データがわかると課題や計画も立て易い。データの結果を活かして今後HPに打ち出すことを見直していくべき。(細谷委員長)
- 検索ワードから追って、HPを見る人がどういったことに興味を持っているのかといったことがわかると、色々な対策が打てると思う。(緑川委員)

② 国・県・市・関係機関などに反映させる要望・提言内容の意見集約について

事務局より配布資料をもとに、事前アンケートの結果および令和3年度の意見集約について説明。委員からの意見および今年度当委員会の意見集約は以下の通り。

A. 委員からの意見

- DXを推進するためにも、まず通信インフラの増強が必要。白河市内でも、時間帯によっては電波・通信状況が悪いことがあるので、それがフラットになれば電波・通信が途切れる問題は解消できると思う。(緑川委員)
- 大きな企業、中小の企業とで格差が出ないような取り組みができたと思う。(松澤副委員長)
- IT関連投資補助金はまさに必要なところと思う。前年度の情報化推進委員会としての要望事項の①②④⑤は今回のアンケート結果とも合致するところと思う。大企業と中小企業とでの格差の問題については、行政とか、いろんな団体に対する要望というよりは、どちらかというところむしろ当委員会の中で情報化の推進を地道に進めながら解決を図っていきたい。(細谷委員長)

B. R4年度情報化推進委員会意見集約

- ◎ ① 施設・観光地のさらなる集客を目的としたIT環境の整備・拡充及び地域Wi-Fiエリアの拡大について(観光・情報化)
- ② IT関連投資(AI、DX、RAP)、SDGsやカーボンニュートラルの取組のための補助金制度創設、取組支援について(その他)

- ③ 5G エリア早期拡大の推進、スマートオフィス・スマートショップ等の活用のための環境整備
- ④ 各種会議・セミナーのオンライン開催のための環境整備（情報化）

4. その他
特になし

5. 閉会
午前 11 時 15 分閉会